

「男木島の アイデンティティって 何だろう」 れきみんトークイベント



(高橋克夫撮影)

男木島は独自の歴史を有し、多様な民俗文化を育んできましたが、少子高齢・過疎化により、過去の記憶は失われつつあります。今回は、当館が取り組んでいる男木島調査の報告をおこなうとともに、男木島の文化の掘り起こしや発信などに取り組んでいる島の方々と、地域の記憶の記録化に取り組む方々をお招きし、トークセッションを行います。

**額賀 順子** Junko Nukaga

NPO 法人男木島図書館 理事長。福島県出身。ウェブデザイナー。平成 25 年の瀬戸内国際芸術祭を機に男木島に移住し、島民の交流の場として男木島図書館を開館する。

**福井 大和** Yamato Fukui

NPO 法人男木島生活研究所代表。高松市男木島生まれ。平成 25 年の瀬戸内国際芸術祭を機に男木島にリターンし、男木島小中学校の再開に尽力。再開した小中学校の継続を目的とした関係人口の創出に取り組む。

**村山 淳** Jun Murayama

福島県出身。高松市塩江町の地域おこし団体、一般社団法人トピカ代表理事。塩江町とその周辺地域の歴史や文化を人文学的視座で俯瞰しながら、地域の産業や共同体のあり方を考え、実践している。

**ゆうさかな** You Sakana

神奈川県出身。2010 年に四国に移住し、「四国食べる通信」などウェブマガジンや情報誌を手掛ける。2014 年に独立。自身のウェブサイト「物語を届けるしごと」では四国や瀬戸内の魅力を四国外や海外に発信している。

2026. **8/23** (日)
9:30-12:00

香川県立ミュージアム

地下 1 階 研修室 (高松市玉藻町5-5)

* 瀬戸内海歴史民俗資料館ではありません。ご注意ください。

先着**70名**(要事前申込)・**無料**

プログラム

「男木島調査報告」

岡田達哉 (当館専門職員)

トークセッション

「男木の人間が男木の歴史を知る。 専門知が地域に返せること。」

額賀順子(NPO 法人男木島図書館)

福井大和(NPO 法人男木島生活研究所)

ゆうさかな(物語を届けるしごと)

ファシリテーター 村山淳(一般社団法人トピカ)

フロアトーク

額賀順子、福井大和、村山淳、ゆうさかな、

田井静明(当館専門職員)ほか

司会 松岡明子(当館館長)

申込方法: 電話、「香川県電子申請・届出システム」でお申し込みください。

* インターネットからのお申し込みは、瀬戸内海歴史民俗資料館ホームページ右下の関連リンクから「香川県電子申請・届出システムのページへ」をクリックしてください。

申込期間: 2026年7月15日(水)～申込開始、定員になり次第終了。

問合せ先: 瀬戸内海歴史民俗資料館 (右記参照)

瀬戸内海歴史民俗資料館
Seto Inland Sea Folk History Museum



〒761-8001 高松市亀水町1412-2
TEL 087-881-4707 FAX 087-881-4784
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/setorekishi/>